

文部科学省後援
第12回 PDA高校生即興型英語ディベート全国大会2026 募集要項
The 12th PDA High School Parliamentary Debate National Competition 2026

一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

1. 【趣旨】

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)では、グローバルに活躍する人財育成の一手法として、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力などの複数の力を効果的に訓練可能な即興型英語ディベートを推進しています。本大会では、即興型英語ディベートの普段の練習の成果を試し、全国の高校生と議論を交わすことで、さらなる成長・学習意欲を促すことを目的とします。授業での取り組み成果を発揮できるよう、形式は授業導入可能なフォーマットです。2022年度からの英語科新科目「論理・表現Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」におけるディベート活動でも実施できる形態としています。

参照：文部科学省助成事業 <http://englishdebate.org/debate/>

また、文部科学省平成30年度教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業「即興型英語ディベートの指導者育成に関する遠隔研修の開発」においても取り扱われているPDA認定教育ジャッジの育成にもつなげます。

2. 【日程】

2026年12月22日（火）、23日（水）

3. 【会場】 ※ハイブリッド型

・東京大学

(東京都目黒区駒場4-6-1 東京大学生産技術研究所 コンベンションホール)

・オンライン (Zoom)

※現地参加の場合、チームメンバー全員が2日間現地参加する必要があります。

オンライン参加の場合、チームメンバー全員がオンライン参加する必要があります。

4. 主催：一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

共催：（予定）東京大学生産技術研究所、大阪公立大学

後援（申請中）：文部科学省、朝日新聞社、朝日中高生新聞、全国高等学校長協会
一般社団法人 日本英語交流連盟、

一般社団法人 日本高校生パーラメンタリーディベート連盟

協賛：（予定）東京大学生産技術研究所次世代育成オフィス（ONG）、

公益財団法人 Tazaki財団、一般社団法人 国際教育英語試験協会(GEET)

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI財団

5. 【参加対象】

日本在住の高校生。1チーム3名（同一校より）でお申込みください。

同一校より1チーム申込みできます。

以下の条件に該当する生徒は、チームに1名までの申込みとなります。

(1) 英語を第1言語、第2言語とする国で2年以上滞在経験のある生徒（就学前の滞在は不問）

(2) インターナショナルスクールまたはそれに相当する学校に2年以上通学経験のある生徒

(3) 家庭または学校で常用的に英語を使っている生徒

6. 【参加費】※決済手数料として275円をご負担いただきます。

PDA学校会員：20,000円（1チーム）

非会員：30,000円（1チーム）

7. 【賞】（予定）

- 優勝・準優勝・第3位
- ベストディベーター賞、POI賞
- 授業導入優秀賞、授業導入賞
- ベストジャッジ賞
- 文部科学大臣賞：ベストスピーカー（個人総合点の最も高い個人）へ授与
- PDA Community Leadership Award

※優勝・準優勝・第3位、授業導入優秀校の合計約5校に、以下の世界交流大会への出場権を進呈します。

※大会にジャッジ参加された中から、ベストジャッジ賞に選出された上位12名に、以下の世界交流大会へのジャッジ出場権を進呈します。

注：上位3名の大会参加費は当協会が負担いたします。

——<世界大会>——

The 12th PDA High School Parliamentary Debate World Congress 2027

第12回高校生パーラメンタリーディベート世界交流大会2027

日程：2027年1月21日（木）～1月22日（金）

※ハイブリッド開催の場合1月23日（土）午前中まで

場所：（検討中）ハイブリッドorオンライン（Zoom）

参加国：海外より12か国、日本より5チーム程度

大会参加費：詳細が決まり次第ホームページ上でお知らせいたします。

8. 【タイムスケジュール】

2026年12月22日（火）	2026年12月23日（水）
12：00 受付	9：30 受付
13：00 開会式、対戦表発表	10：00 準々決勝進出チーム、 ジャッジの発表
13：20 ジャッジブリーフィング	10：30 準々決勝論題発表、準備 キーノートレクチャー①
13：30 R1論題発表、準備	10：45 準々決勝ラウンド実践
13：45 R1ラウンド実践	11：10 昼休み
14：05 R1ジャッジ	12：10 準決勝進出チームの発表
14：45 R2論題発表、準備	12：15 準決勝論題発表、準備 キーノートレクチャー②
15：00 R2ラウンド実践	12：30 準決勝ラウンド実践
15：20 R2ジャッジ	12：50 休憩
15：50 レクチャー	13：15 決勝進出チームの発表
16：30 R3論題発表、準備	13：20 決勝論題発表、準備 キーノートレクチャー③
16：45 R3ラウンド実践	13：35 決勝ラウンド実践 3位決定ラウンド実践
17：05 R3ジャッジ	14：00 休憩
17：45 R4論題発表、準備	14：15 表彰式
18：00 R4ラウンド実践	15：15 終了
18：20 R4ジャッジ（クローズ）	
18：30 終了	

9. 【申込み方法】

募集要項をご確認のうえ、以下のウェブサイトよりお申込みください。

<http://www.pdpda.org>

申込期間：公開日～11月10日（火）

事務局からの参加校決定通知後、参加費用のお振込みをお知らせいたします。

※申し込み多数の場合は、PDA学校会員、授業導入実績、地域交流大会への参加歴、学校のPDA認定教育ジャッジの数、申し込み順等を考慮し、参加校を決定いたします。

※学校の多様性の観点から、できるだけ各都道府県から1校が参加できるよう配慮します。

※現地会場は、一部屋で複数テーブル同時開催する仕様となっています。これは、普通の授業における実施手法とも同様であり、そのコミュニケーション場を提供するものです。ただし、全国大会ではスピーチにおいて声の大きい生徒もおり、隣のテーブルの声がうるさく聞こえる場合もあります。できるだけテーブル間の距離を離すよう心がけますが、これらの事情についてご承知おきください。静かなオンライン環境のほうがよいチームは、オンライン参加を選択ください。

10. 【ジャッジ参加】

本大会のジャッジは、PDA認定教育ジャッジ他、即興型英語ディベートの経験および教育的配慮がある社会人、大学生・院生、教員を対象とします。授業での即興型英語ディベートの推進を一つの要とするPDAの活動趣旨から、各校からの教員がジャッジとしてご参加されますことを原則とします。（授業導入に向け教員がジャッジすることを意図としているため、他校やOBOGジャッジの登録ではありません。）

PDAにおける体験会、交流大会、合宿、大会、教員研修会等に参加経験がなく、即興型英語ディベートの進行およびジャッジに不慣れな場合は、事前のジャッジ研修（オンデマンド）※を受講ください。場合に応じて、他の教員と2人でジャッジを担当いただく配慮をさせていただきます。

※ジャッジした全ラウンドが2人ジャッジのサブジャッジ（口頭でのコメントなし）の場合、ブレイク権はありません。

教員の方で、自校のチーム参加は伴わず、ご自身がジャッジ参加されることも歓迎です。英語科以外の教員のご参加も歓迎です。

※事前ジャッジ研修（オンデマンド）：申込締切後に詳細をご案内いたします。

11. 【授業導入実績】

PDAでは、授業における即興型英語ディベートの導入を応援しております。授業での即興型英語ディベートの実践は他校へのモデルにもなり、社会的にも大きな貢献を果たすと考えます。よって、学校での取り組みの姿勢・努力を讃えながら称賛させていただきたいと思います。また、授業導入内容を共有させていただき、全国の高校へ紹介させていただきます。

授業導入実績がある高校また授業導入を予定している高校で、授業導入実績報告書の提出を希望される場合は、次の事項について、授業導入実績報告書フォーマットにしたがって記載ください。

- (1) カリキュラム ※正規のシラバス等への記載があれば、それも別添ください。
- (2) 授業規模
- (3) 地域（他校）への影響
- (4) PDA認定教育ジャッジ資格を有する教員数

※授業導入実績報告書を提出された高校の中から、上記の項目および全国大会の成績を考慮し、授業導入優秀校を決定いたします。